

事後評価【番号5】

大川持谷左支通常砂防事業

1. 大川持谷左支通常砂防事業の目的

事業の目的

土砂災害から、人家8戸、山城幼稚園、避難所である山城小学校、重要交通網であるJR土讃線、国道32号などを保全するため、砂防堰堤1基を整備する。

位置図



全景写真



3. 大川持谷左支通常砂防事業の効果

整備効果

保全対象

- ・人家:8戸
- ・山城幼稚園(要配慮者利用施設)
- ・山城小学校(指定緊急避難場所)
- ・一般国道32号 L=180m(第1次緊急輸送路)
- ・JR土讃線 L=160m(重要交通網)

費用便益分析の算定(B/C)

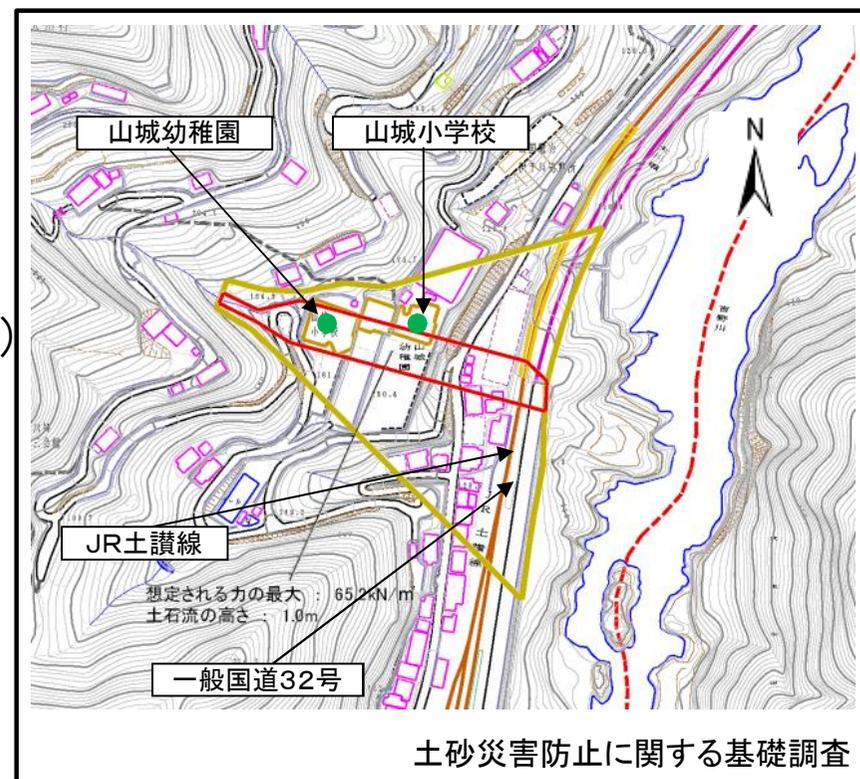
事業期間:平成21年度~平成27年度

評価基準年:平成28年

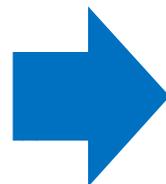
総便益: **486百万円**

総費用: **317百万円**

$B/C=1.5$



整備前



整備後

砂防事業によるストック効果 <通常砂防事業 大川持谷左支>

○ハード整備

指定避難場所 山城小学校の保全
 第一次緊急輸送路 国道32号の保全
 重要交通網 JR土讃線の保全

+

○ソフト対策

危険箇所点検
 避難訓練・防災学習



地域の総合的な防災力向上

土砂災害訓練の実施



保全対象

